

令和7年度
すくわくプログラム活動報告書

(実施対象：1歳児クラス)

モニカ三軒茶屋園

M  nica

テーマ

土と水

設定理由

砂や水、泥などの自然物に触れることを通して様々な感覚を使いながら遊びを広げていた。また、小川を見つけると草花を摘み取り、そっと水面に浮かべ流れていく様子をじっと見つめ、自分なりに確かめようとしていた。

土に触れる中で、水をかけたときの土の変化や、泥の感触に強い興味を示す姿が見られたことから土と水の関係性をテーマにすることにした。

対象クラス

1歳児クラス・7名

活動のねらい

土や水などの自然素材に触れ、感触や変化を楽しむ

キーワード

「水をいれたらどうなるかな？」
「さわるとどう？」

活動期間

令和7年5月～9月

活動回数

計4回

活動①

赤土・黒土に触れる

問 い

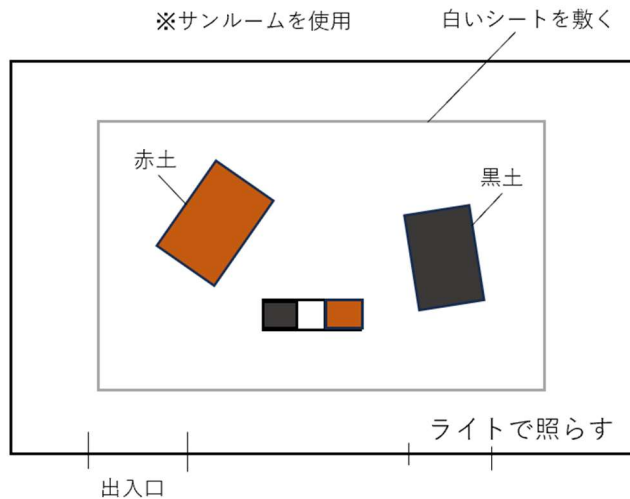
「どんな色してる？」 「混ぜたらどうなるかな？」

準備物

白いシート(大) | 赤土 | 黒土 | 透明容器 小(2) | 三連アクリルボックス(1) | クリップライト(1)

環境構成

- 赤土、黒土、培養土をそれぞれ透明容器に入れる。
- 白いシートの上に置き、上からライトで照らす。
- 触れたり混ぜたりしながら土と触れ合う。



活動②

土と水に触れる

問 い

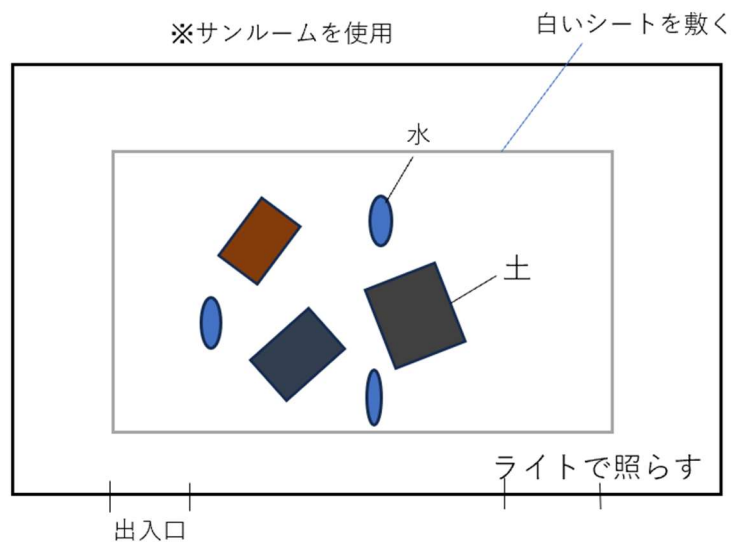
「やわらかい？かたい？」 「どんどんかわっていくね」

準備物

白いシート大(1) | 赤土 | 黒土 | 培養土 | 透明容器・大(1) | 透明容器・小(2)
三連アクリルボックス(1) | ペットボトル(3) | 透明カップ(2) | クリップライト(1)

環境構成

- それぞれ土を透明容器に入れて白いシートの上に置く。
- 土の近くに水を置き、上からライトで照らす。
- 自分たちで水を入れ、感触の違いを味わう。



活動③

土粘土に触れる

問 い

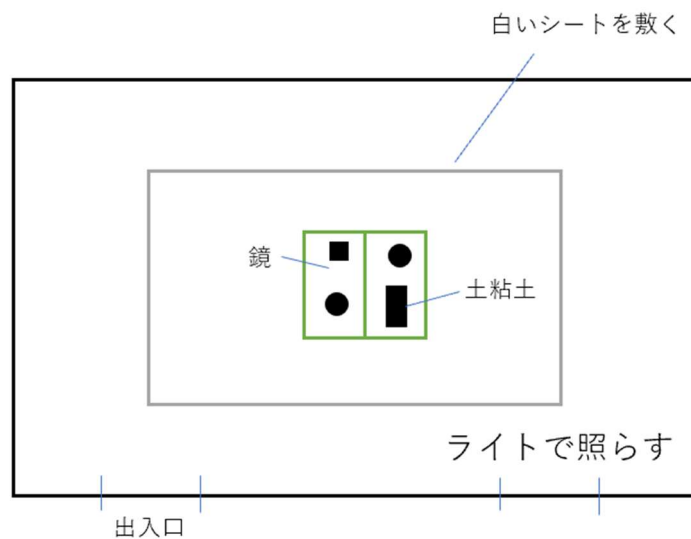
「こっちはどう見える？」 「触るとどう？」

準備物

土粘土 | 鏡(2) | 白いシート(大) | クリップライト(2)

環境構成

- サンプルームで照明を薄暗くし、ロールカーテンを下げる。
 - 丸や正方形、長方形に成型した土粘土の塊を4つ鏡の上に置く。
 - 3グループに分かれ、観察したり触れたりする。
- ※各グループごとにセットアップをし直す。



活動④

自分の感じた『泥と水の世界』を表現する

問 い

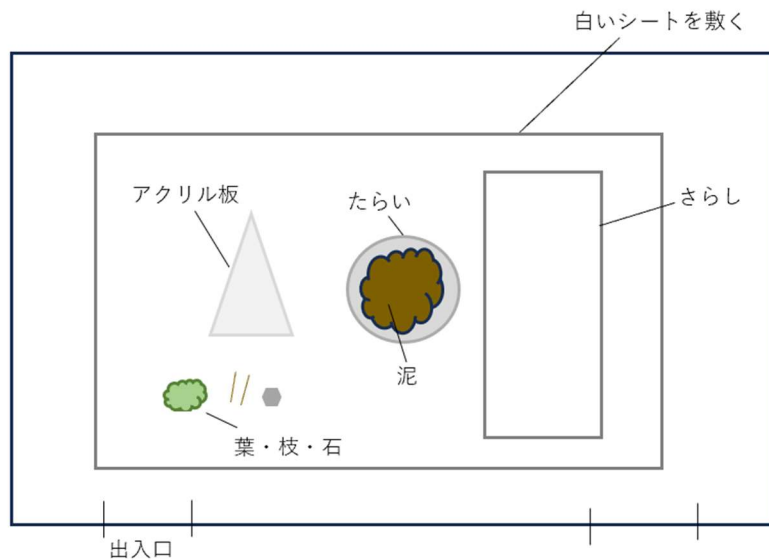
「どろどろしているね、どんな感じ？」 「手で伸ばしたらどうなるかな？」

準備物

泥 | さらし | アクリル板 | 葉 | 枝 | 石 | 白シート(大) | たらい

環境構成

- 泥をキャンバス(さらし、アクリル板)に垂らしたり手で伸ばしたりしながら描く。
 - 葉や枝、石も加えて自然の作品を作る。
 - 霧吹きで水を加えて「動き」「混ざり」を試す。
- ※たらいの中に予め作った泥を入れ中央に置く。室内のライトはオレンジにし薄暗い雰囲気を作る。



使用物

赤土 | 黒土 | 培養土 | 水 | 小石 | 葉 | 白い布 | アクリル板 | じょうろ | 透明カップ
たらい | 白いシート大 | 土粘土 | 鏡大(2) | 絵本『どろんこ』

テーマ：土と水

全体の振り返り

土という身近な素材に出会い、指先でそっと触れて確かめたり、水を加えて変化を発見したりしながら感触や形の移り変わりを楽しみ自分なりの表現へと繋げていった。土を通して五感で感じ、変化を発見し表現へと繋がっていく過程を楽しむ中で、それぞれの子どもが自分なりの世界や表現を広げていく姿が見られた。今後も土をきっかけに自然や素材への関心を深め、探究を重ねていけるようにしていきたい。

終



株式会社モニカ

〒105-0004
東京都港区新橋1-9-5 KDX新橋駅前ビル 3F
TEL:03-6661-2466
FAX:03-6661-2467

モニカ三軒茶屋園

〒154-0011
東京都世田谷区上馬1-17-10-2階
TEL:03-6450-8402
FAX:03-6450-8403